

精鋭24名による熱き戦い!!

第1回キーパー技術コンテスト 全日本チャンピオン決定戦レポート

■ 開催日/4月10日(木)
■ 開催場所/中央トレーニングセンター
(愛知県大府市)

全国から約800名がエントリーした「第1回キーパー技術コンテスト」は最終決戦を迎え、2回の予選を制して勝ち上がった精鋭24名が技術を競う「全日本チャンピオン決定戦」が開催された。緊張感のなか行われた熱い戦いの模様を紹介します。

13:00 開会式&競技説明

冒頭、谷社長の挨拶で、選手たちは全国各地を勝ち抜いた精鋭なので、この大会で日本最高の技を披露してほしい。また、競技中、応援団の応援はもちろんヤジもOKと語り、ギャラリが大いに盛り上がるなか、コンテスト実行委員が開会宣言を行い大会の幕を開けた。続いて、本日のスケジュール、採点担当者の紹介、競技方法の説明が行われた。



応援ファックス

会場の壁一面に、選手たちへのたくさんの応援ファックスを掲示。会場に來れない仲間たちも地元から熱いメッセージを送り選手たちを励ました。



第1班

13:25 競技準備～ 選手紹介と決意表明

選手が平等な条件で競えるよう、全車アクアが用意された。競技を目前に控え、選手たちが準備をする。選手たちはクルマを磨くシミュレーションをするなど、気合い十分だ。最初に競技を行う1班の選手たちの紹介と、「横浜に優勝旗を持ち帰りたい」「優勝して、島根にもっと洗車の良さを広めたい」「平常心で頑張ります!」など、各選手が熱い決意を表明した。



13:50 競技開始

静かで緊張感が漂うなか、「各工程でキチンと処理ができていないか」「手数が少なくムダのない作業か」などを厳しくチェックされながら、「爆白ONE」で汚れを取る工程から順に、下地処理を行い、1層目のコーティングへと作業が行われた。1層目のコーティングの仕上がり具合が審査された後、2層目のコーティングを行う。ここでは、「スポンジの幅を有効に使い、直線のラインが引けているか」「拭き残しがないか」などが重要となる。ボディの輝きをチェックした後、選手が次々と手を上げて、作業終了を合図。採点担当者が仕上がり具合を細かくジャッジして、1班の戦いは終了した。



第2班

15:00 競技準備～ 選手紹介と決意表明

選手にとっては、待ちわびた競技の到来。準備後、はやる心を落ち着かせながら、戦いのときを待つ。2班の選手たちの紹介と、「沖縄から優勝旗をもらいに来ました」「小学生の時からキーパーとしてゴールを守り、今はキーパーで塗装を守っています。守ってばかりでしたが、今日は攻めます」などの決意表明が行われた。



15:25 競技開始

第1班と同様に厳しくチェックされながら、「爆白ONE」の施工から1層目のコーティングまでの工程が審査される。どの選手も慣れた手つきで淡々と作業を進めていく。1層目のコーティングまでの仕上がり具合の採点を終え、2層目のコーティングに取りかかる。わずかな拭き残しが大差をつけるハイレベルな戦いで、選手たちは慎重かつ迅速に作業をする。力を出し切って全工程を終えた選手たち。あとは審査結果を待つだけだ。



同僚やメディアは



応援に駆けつけた上司や同僚のほかにも、高い技術を取材しようと訪れたテレビ局や雑誌などの多くのメディアが戦いを静かに見守った。

戦いを終えた選手は・・・

物静かな雰囲気逆に良かったです。緊張はあまりせず仕上がりも満足しているので、どんな結果が出てもいいです。

普通の施工とは違い、採点担当者の視線を感じつつ、静かななかで緊張しました。いつも通り出来たかなと思ってます。

地区大会では緊張して悔いが残ることが多かったのですが、ここでは雰囲気にもまれなように心がけ、普段通りできました。

上手い人たちがばかりなので、緊張してしまい頭のなか真っ白でした。思ったようにできなかったのが悔しいです。

ほかの選手はみな男性なので、残念ながらスピードではないかもしれませんが、自分のペースでミスなくできて良かったです。

16:35 エキシビジョン「手洗い洗車ショー」

100点ビデオの矢島部長による洗車ショーを開催。手数だけでなく、歩数や屈伸動作も少なくムダがなく、ビデオでは語られていない高難度の技も紹介され、会場を沸かせた。



17:00 結果発表&表彰式

審査結果発表と表彰が行われた。5位は154.7点獲得した杉本智彦選手と内野猛星選手、4位は155点獲得した阿南光紀選手、3位は157.3点獲得した高田直道選手、準優勝は158点獲得した浅野真広選手、そして栄えある初代全日本チャンピオンは、170点満点中165.7点獲得した北本良介選手。優勝した北本さんの得点からも本大会のレベルの高さが分かり、完璧さを求められるなか、ほんのわずかなミスで大きな差がついてしまう厳しい戦いであった。



全日本チャンピオン決定!



17:25 記念撮影を行い、終了!

たくさんのご参加、ありがとうございました!



打ち上げパーティー開催
終始楽しい時間となり、選手たちの交流の場となりました。